

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 コロナ禍における女性の負担軽減を（20分）</p> <p>現在、世界各国で女性の月経に関する「生理の貧困」が問題となっています。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にあることを指し、発展途上国のみならず、格差が広がっている先進国においても問題になっています。この「生理の貧困」問題解消のために、例えばイギリスでは全国の小、中、高校で生理用品が無償で提供されていると報道されています。また、フランス、ニュージーランド、韓国なども同様の動きがあります。</p> <p>この問題は日本でも無関係ではなく、先日、任意団体である「#みんなの生理」が行ったオンラインアンケート調査によると、5人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した、他のもので代用している等との結果が出ています。また、貧困で購入できないだけでなく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もあります。このような女性の負担を軽減する取組について以下質問いたします。</p> <p>(1) 女性の雇用状況について  (2) ひとり親家庭の経済的な状況について  (3) 虐待やネグレクトによる生理に関する課題について  (4) 学校における生理の教育について  (5) 防災備蓄品の生理用品を必要な方に配布することについて  (6) 小・中学校や、公共施設の個室トイレで生理用品を無償で提供することについて</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 子どもや若者の孤独・孤立対策を（20分）</p> <p>内閣府は4月6日「子供・若者育成支援推進大綱」を決定しました。子どもや若者を取り巻く社会の状況として、コロナ禍や激甚災害、児童虐待、性被害などを挙げ、いつ、どこにいても生命、安全の危機に直面しうると指摘しています。とりわけ、自殺やひきこもりなど、さまざまな社会問題に共通する背景として、孤独や孤立があると強調しました。去年は小中高生の自殺者が過去最高となり、コロナ禍の影響も懸念されています。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>自殺防止対策やひきこもり、また、祖父母や親、兄弟などを世話するヤングケアラーへの支援も焦点となっています。このようなことから以下質問いたします。</p> <p>(1) 不登校の児童・生徒の現状について</p> <p>(2) ひきこもり者数(世代別)とそうした方への対策について</p> <p>(3) ヤングケアラーの把握と、その対策について</p>	